

51. 宮城県及び岩手県における工作教室及び製品開発の支援

(学外対応分)

実施時期又は期間等

平成24年

3月7, 8日 宮城県南三陸町

3月10日 岩手県野田村

3月13, 14日 宮城県南三陸町

5月27日, 6月16日, 7月8日, 11月12日 岩手県野田村

対応部局及び人員

教育学部富田准教授をはじめ、美術教育講座、津軽三味線サークル、スティーロパン部及びグラスハープ・アンサンブルの有志学生 約30名

実施の背景・目的

宮城県南三陸町：「社会貢献共同体ユナイテッド・アース」からの要請

岩手県野田村：「動こう津軽」からの要請

実施概要

- ・「ささやきの壁」という音響玩具の製作会をとおして、被災者のこころのケアおよび、地域振興のための製品開発をおこなった。
- ・被災者たちがたちあげた木工房「だらすこ工房」（野田村）の製品開発にアイデアを出し合い、試作品の製作をおこなった。

効果又は結果

被災地住民のこころを癒した。

また製品開発については、新たなアイデアを盛り込んだ製品が生まれつつある。

今後の課題

被災は甚大であり支援は5年、10年といった長期的な継続が大切だと考える。

担当部局名

教育学部



宮城県南三陸町の仮設住宅集会場にて



岩手県野田村総合センターにて



岩手県野田村だらすこ工房にて